加入・履行証明願受付に関するフロー

Q1-1 自社に被共済者はいますか？

NO(下請への証紙交付・掛金充当のみの場合)

YES

工事施工高と比較して被共済者はいるが著しく少なく、下請を使って工事を行うことが常態である場合は、双方の確認を行います。

Q2-1 更新数は被共済者数に見合う数ですか？（共済手帳受払簿で確認）

A≦Bであること。

A被共済者数〔　　〕人

B手帳更新数〔　　〕冊

NO

Q2-2 条件に満たない理由は以下のいずれかに該当しますか？

ア　加入後1年未満の被共済者がいる

イ　個人的事情等により年間就労日数の少ない被共済者がいる

（季節労働者・高齢者・病弱等）

ウ　電子申請方式で掛金納付を行っている

YES

NO

Q1-2 下請への掛金充当または証紙の交付は適正ですか？

〈電子申請による掛金充当〉

機構が発行する「建設業退職金共済掛金納付・充当状況証明書(※)」の『⑤当期「被共済者に対する充当額」(下請分)』により確認する。

(※)電子申請専用サイトから出力できます。

〈共済証紙現物交付〉

決算期間内に購入した共済証紙のが適正に下請に交付されていることを確認する。

［確認方法］

共済証紙受払簿の証紙購入額の合計⑥の相当割合(全額を含む)が下請へ交付した額の合計⑧となっていることを確認する。

NO

YES

加入・履行証明願は受け付けられません。

Q3-1 下記①及び②で計算の結果、退職給付拠出額等(下記1～6)の総額は

Q2-1 Aの被共済者数に見合う額を満たしていますか？

退職給付拠出額等の総額《★2》≧ｉ＋ⅱ＋ⅲの総額《★1》であること。

①〔　　〕内に必要事項を記入し、計算してください。

※ Q2-2 ア又はイに該当する被共済者がいる場合は、人数には含めず下記②で計算してください。

被共済者数　〔　　〕人　×　80,640円　＝〔　　0〕　円(ｉ)

② Q2-2 ア又はイに該当する被共済者がいる場合

(1) アの方の退職給付拠出額

加入から決算月の月数　〔　　〕月×　6,720円　＝〔　　0〕円(ⅱ)

(2) イの方の退職給付拠出額

決算始期の就労日数　〔　　〕日×　320円　＝〔　　0〕円(ⅲ)

計算式　（ｉ）＋（ⅱ）＋（ⅲ）＝　〔　　0〕　円《★1》

〈退職給付拠出額等の計算〉

・共済証紙購入額：共済証紙受払簿、掛金収納書等で確認

・電子申請による掛金充当額：建設業退職金共済掛金納付・充当状況証明書等で確認

(1)電子申請方式で自社の従業員に対し掛金充当した額・・・・・〔　　〕円

(2)電子申請方式で元請から自社の従業員に対し掛金充当された額　・〔　　〕円

(3)共済証紙購入額　・・・・・・・・・・・・・・・・・・〔　　〕円

(4)前年度から繰越した共済証紙の額・・・・・・・・・・・〔　　〕円

NO

YES

加入・履行証明願を受け付けます。

建退共岩手県支部へご提出ください。

詳細はお問い合わせください。

注　意

改めて審査を行いますので、

証明書の発行をお約束したものではございません。

〈加入・履行証明願の申請に必要な主な提出書類〉

証紙貼付方式(電子申請方式併用を含む)

●加入・履行証明願　●共済手帳受払簿(様式第029号)

●共済証紙受払簿(様式第030号)　●出勤簿等(Q2-2.イの場合)

●直前三年の各事業年度における工事施工金額

元請のみ提出が必要な様式

●建退共制度に係る被共済者就労状況報告書(建退共事務受託様式第2号)

(「建設業退職金共済証紙受領書」を含む)

電子申請方式

●加入・履行証明願

●共済手帳受払簿

(様式第029号)

●出勤簿等

(Q2-2.イの場合)

(5)元請から現物交付された共済証紙の額　・・・・・・・・・〔　　〕円
(6)下請に現物交付した共済証紙の額　・・・・・・・〔　　〕円
計算式　(1)+(2)+(3)+(4)+(5)−(6)＝　〔　0　〕円《★2》

●工事別共済証紙受払簿(様式第032号)
(建退共の求めに応じて提示)

※このフローは典型的なパターンを示したものであり、必ずしも全てのケースを網羅しているものではありません。